Traditional Japanese House
Renovation Design

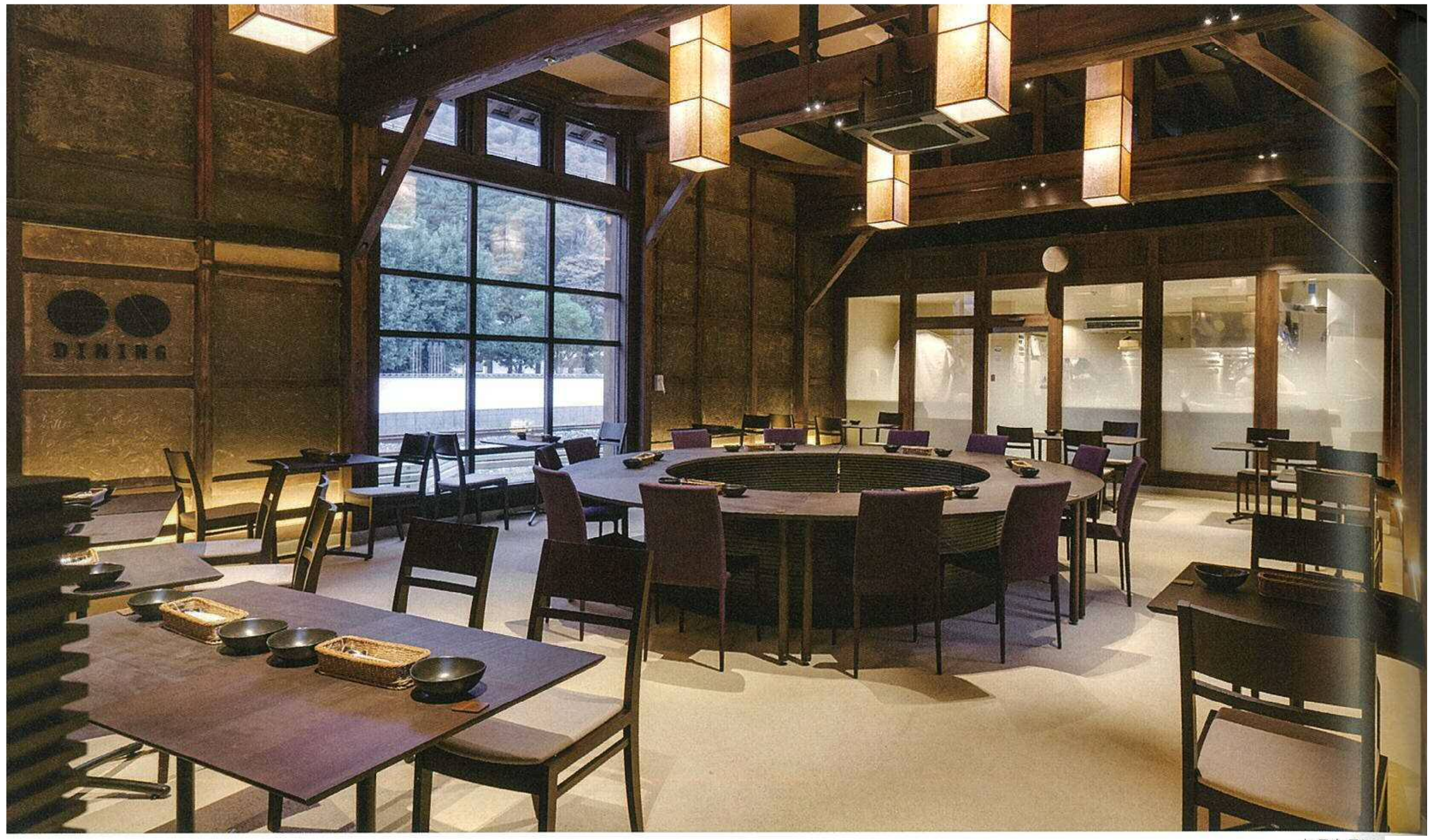
古民家再生

文化財建造物再生

再生プロジェクトデザイン

民間の知恵が再生を可能にした57事例

alpha books



レストラン

Hotel&Restaurant **"天空の城"竹田城跡の城下町に誕生した新しいランドマーク〜EN〜**

人・文化・風土を大事にする

全国の造り酒屋が建物維持に苦しんでいます。当該建物も同様で廃業し時間の経過とともに腐朽し、一部の建物が倒壊していました。竹田城の直下で竹田街道と円山川に延びる街道のT字部分に位置するENでまちを表現しようと考えました。約750坪の敷地中央の空地を囲む5棟は、商店に食堂、銭湯や宿とし、空地は催事広場と位置づけました。ここで竹田で繰り広げられる日常を展開することで、人はENを中心に行き交うことになります。人や営みの火が灯ることになりました。損傷のない外観は、できる限り手を付けず急な変化を抑えたことで、空き家が目立つ街道に溶け込み、日常が引き継がれています。また一旦途切れた時間がつながりました。インパクトのあるデザインで圧倒するのも悪くありませんが、滲み出すデザインも捨てたものではありません。主屋は半分を公開施設とし、残り部分と土蔵を宿としました。もちろん内部空間も同様の必要以上に手を付けないのは、我々の常套手段です。大蔵はレストランとし、ブライダルも行われていてハレの日の忘れられない蔵となっています。その他観光案内を兼ねた山城資料館や銭湯に見立てた浴室棟、若者が起業するためのチャレンジショップは街道側の2棟の土蔵を当てました。結果、ENは拡大し南隣地の空き家はペットホテルとして開業、人気を博しています。さらに近々4棟の空き家もホテル客室として仲間入り、目論見通りです。

有限会社才本建築事務所／才本 謙二

EN
旧木村酒造場
THE OLD KIMURA DISTILLERY
1902
竹田城 城下町 ホテル EN

「天空の城」竹田城が大きなブームになる前のこと、朝来市は竹田城下町のシンボルである「旧木村酒造場」を取得し、町並みの保存と活用の中核施設として整備することにしました。
改修費用は朝来市が負担し、指定管理料はゼロ円とする官民連携手法（活用提案型指定管理方式）を先駆的に導入して、事業者を公募、施設の半分を収益施設（ホテル等）、半分を公益施設（市民広場、観光案内所等）とする一般社団法人ノオトの事業提案を採用しました。
地域の観光振興、まちづくりの拠点として人と人との縁を結ぶ場所となってほしい。そんな思いを込めて「旧木村酒造場EN（えん）」と名付けられました。
現在は、ここを拠点に、周辺の空き古民家を改修し、ホテル客室の増室を進めています（分散型ホテル）。

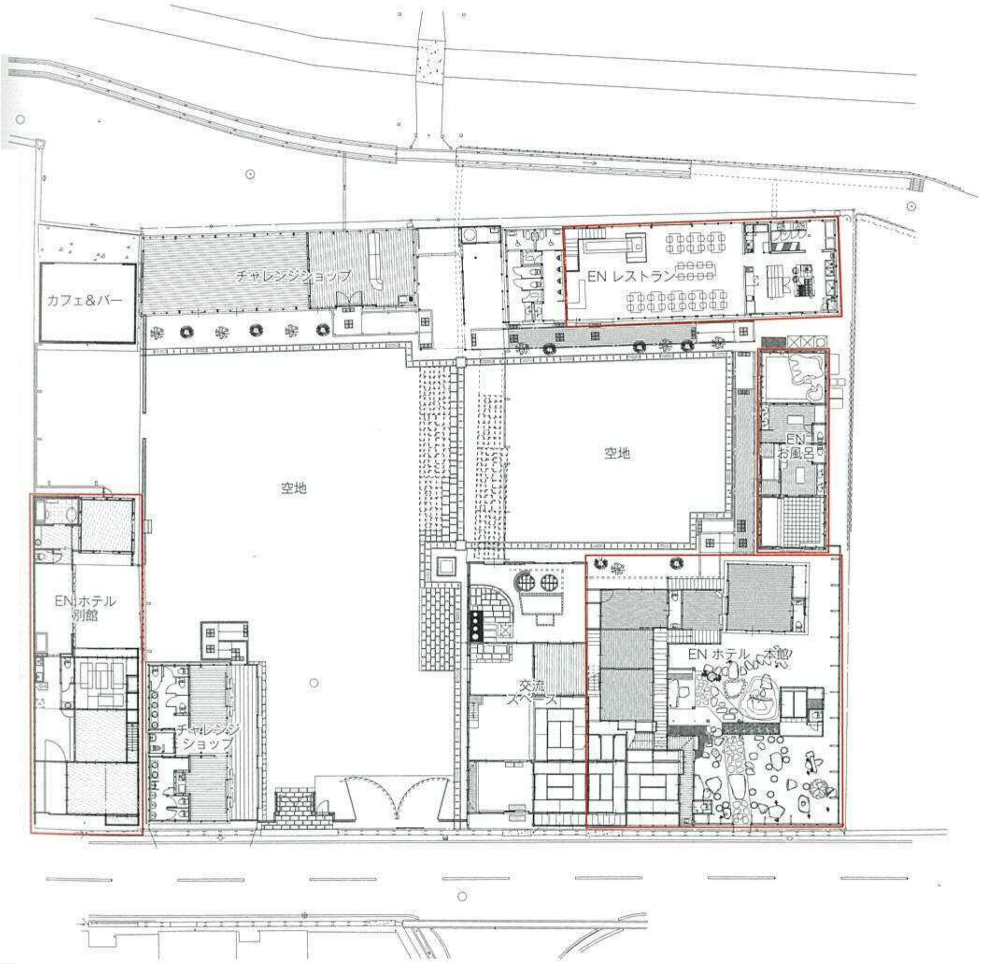
プロジェクトDATA

プロジェクト名	：古民家再生プロジェクト
対象建造物	：旧木村酒造場
創建	：明治
文化財指定など	：国登録有形文化財
所有者（オーナー）	：朝来市
管理・運営受託	：一般社団法人ノオト（指定管理者）
施設運営会社	：バリューマネジメント株式会社
主な収入	：宿泊、レストラン、婚礼
助成金（県・市）	：朝来市が改修費負担

客室

外観

エントランス



平面図

インテリアDATA

業態	：宿泊施設、レストラン、ブライダル、物販、市民広場
施工種別	：部分改装（現地再生、現地建替）
立地	：城下町
敷地面積	：2,458,18㎡
竣工日	：平成25年（2013年）10月
プランニング	：一般社団法人ノオト、バリューマネジメント株式会社、有限会社才本建築事務所
設計デザイン	：有限会社才本建築事務所
建築設計	：松本一級建築事務所
アートディレクション	：松本一級建築事務所
インテリアデザイン	：株式会社ワサビ
施工	：阿野建設株式会社
建物工事費概算	：2億5000万円（施工費）※朝来市所有の文化財を、活用提案型指定管理方式により民間事業者が保存活用。建物改修費は朝来市が負担。
工期	：16ヶ月
照明計画	：有限会社才本建築事務所＋株式会社ワサビ
撮影（カメラマン）	：藤原 岳史　バリューマネジメント株式会社
グラフィック	：SASI DESIGN

マテリアルDATA

屋根	：いぶし桟瓦葺（古瓦）
外壁	：灰中塗　焼杉板竪張　※現状を踏まえて補修　既存屋根瓦締め直し　一部葺き替え
サイン	：のれん　サイン
床	：（土間）既存コンクリート土間　一部御影石張　（客席）杉板＜30＞古色塗　一部既存板クリーニング（縁側等）　（客室）杉板＜30＞古色塗　畳式　一部既存板クリーニング（縁側等）
壁	：漆喰　灰中塗　聚楽塗　※既存塗壁は一部補修
天井	：竿縁天井　杉板　大和天井
家具・展示什器	：古家具加工　既製品
照明器具	：ベース照明　大光電機　その他色々
厨房設備	：フジマック

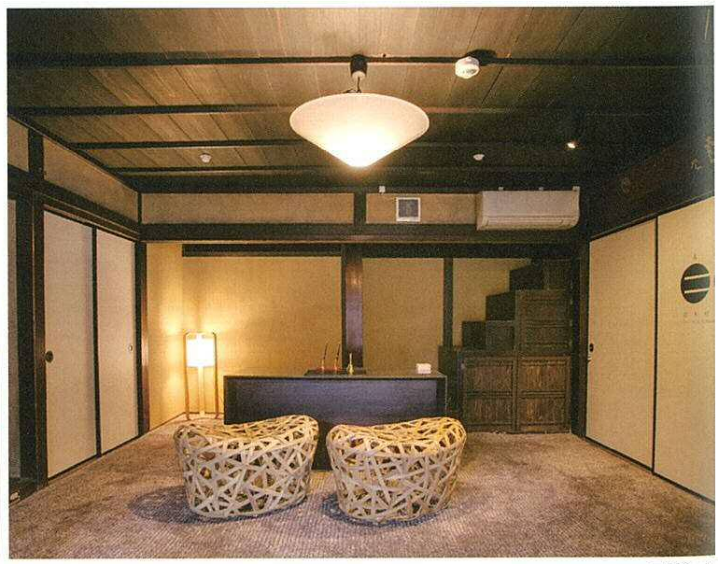
TAKEDAJYO JYOKAMACHI HOTEL -EN

有限会社才本建築事務所／才本 謙二

中庭

改修目的 国史跡竹田城跡及び山城城下町として栄えた竹田の町並み景観を守り育て、歴史の伝承、文化の向上及び観光振興に資すること。

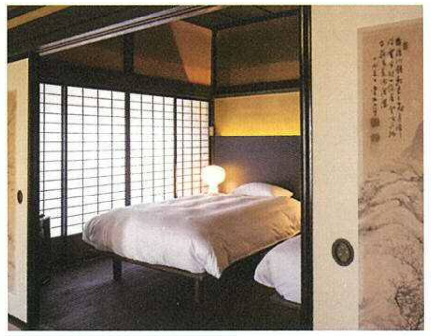
アプローチ



フロント

客室

中庭よりフロントを見る



客室

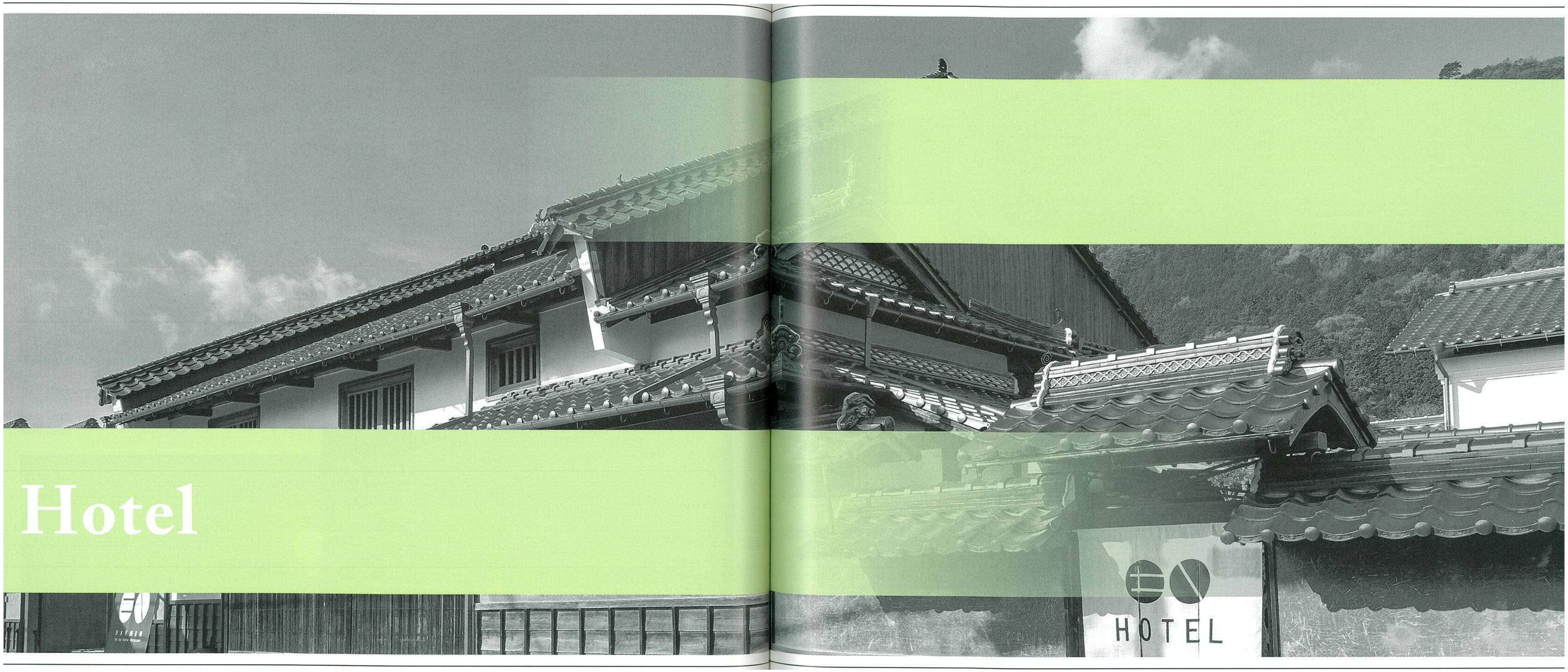
改修前

客室

店舗紹介

敷地の北側がホテル、レストラン、カフェ等の収益施設エリア、南側が市民広場、観光案内所等の公益施設エリアとなっており、これらを一体的に運営しています。

店舗DATA

施設名(店名)：竹田城城下町ホテルEN(旧木村酒造場EN)
所在地　：兵庫県朝来市和田山町竹田字上町西側363番
URL　：https://www.takedacastle.jp/
TEL　：0120-210-289
スペック　：レストラン/30席　客室/5室
主な集客方法：施設WEB、口コミ、紹介、宿泊予約サイト、メディア、SNS等
中心年齢層　：定年後ご夫婦、30～40代　都会からいらっしゃる方が多い
平均来店客数/年：年間約6,000人　※宿泊、レストラン、宴会含む
平均客単価　：約3万円程度(2食付き)
年間の広告費：約30万円程度

Hotel